

我が県土  
支え育む  
希望郷

# 美しい 県土づくりNEWS

2019年  
3月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第176号  
平成31年3月29日発行  
編集 県土整備企画室

## 目次

- 2 東北横断自動車道釜石秋田線(遠野住田 IC～遠野 IC)  
三陸沿岸道路(釜石南 IC～釜石両石 IC)  
東北横断自動車道釜石秋田線(釜石 JCT～釜石仙人峠 IC)  
開通!
- 5 復興道路 三陸沿岸道路 唐桑高田道路  
唐桑小原木 IC～陸前高田長部 IC 開通!
- 7 【主要地方道重茂半島線、一般県道津軽石停車場線】  
「熊の平～津軽石」が開通しました!
- 9 「リノベーションフォーラム」を開催!
- 10 東日本大震災津波からの復興に向けて  
～平成30年度 県土整備部の取組状況～

# 三陸復興

## 東北横断自動車道釜石秋田線 全線開通

～ 三陸沿岸道路と結節し、高速道路ネットワークが形成 ～

平成31年3月9日(土)三陸沿岸道路(釜石南 IC～釜石両石 IC)、東北横断自動車道釜石秋田線(釜石 JCT～釜石仙人峠 IC)が開通しました。

今回の開通により、東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通となり、県政史上初めて沿岸部と内陸部が高速交通体系で結ばれるとともに、釜石南～釜石両石間が同時開通した三陸沿岸道路と結節し、高速道路ネットワークが形成されました。



安倍内閣総理大臣、渡辺復興大臣、池田国土交通省道路局長、達増知事、県議会議員、野田釜石市長、県選出国會議員、かまいしこども園の園児ほか地域の方々など、ご来賓の皆様によるテープカット、くす玉開きの様子

**3/3 東北横断自動車道釜石秋田線（遠野住田IC～遠野IC）**

**3/9 三陸沿岸道路（釜石南IC～釜石両石IC）  
東北横断自動車道釜石秋田線（釜石JCT～釜石仙人峠IC）**

# 開通！

～ 東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通、三陸沿岸道路と結節 ～

道路建設課

## ○遠野道路の開通

平成31年3月3日（日）、遠野市にて東北横断自動車道釜石秋田線遠野道路（遠野住田IC～遠野IC）の開通式が県、遠野市、東北地方整備局の共催で開催されました。

式典には、達増知事、本田遠野市長をはじめ、国会議員、県議会議員、地域住民の方々など多数の関係者が出席され、主催者挨拶や祝辞、テープカット、くす玉開き、五葉山火縄銃鉄砲隊伝承会の号砲による開通パレードなどのセレモニーが行われ、遠野道路の開通を祝いました。

また、開通記念ウォーキングやマラソンが執り行われ、多くの市民の皆様が開通前の遠野道路に触れ合いました。



テープカット、くす玉開き



開通パレード



開通記念マラソン

## ○東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通

平成31年3月9日（土）、釜石市にて三陸沿岸道路（釜石南IC～釜石両石IC）、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石JCT～釜石仙人峠IC）の開通式が県、釜石市、東北地方整備局の共催で開催されました。

式典には、安倍内閣総理大臣、渡辺復興大臣、池田国土交通省道路局長、達増知事、野田釜石市長をはじめ、国会議員、県議会議員、地域住民の方々など多数の関係者が出席されました。

達増知事からは「岩手の沿岸と内陸が初めて高速交通体系で結ばれる。道路によって岩手が一つになる、岩手の歴史にとって大きな画期となる。」と挨拶を述べました。

安倍総理は「縦軸と横軸の復興道路が結ばれることを皆さんと一緒に喜びたい。復興まちづくりが一層推進されるよう、政府一丸で取り組む。」と祝辞を述べられました。

その後、テープカットとくす玉開き、開通パレードなど、セレモニーが行われ、多くの皆様が開通を祝いました。



達増知事 挨拶



安倍内閣総理大臣 祝辞



開通パレード

会場では、復興道路のパネル展示のほか、釜石市から「ホタテの稚貝汁」のお振る舞い、かまいしこども園の児童による虎舞の演舞が行われ、開通に華をそえました。



復興道路のパネル展



ホタテの稚貝汁のお振る舞い



釜石こども園 虎舞演舞

今回の開通により、東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通となり、県政史上初めて沿岸部と内陸部が高速交通体系で結ばれるとともに、3月21日に釜石市から宮城県気仙沼市まで繋がった三陸沿岸道路とも結節し、高速道路ネットワークが形成されました。

開通の効果として、釜石港を利用した物流の効率性が大きく向上し、岩手の産業・経済活動がこれまで以上に活性化することや、津波浸水区域を回避した緊急輸送道路の信頼性が確保されるなど、様々なストック効果が期待されます。

また、6月に開催する「三陸防災復興プロジェクト 2019」や9月に開催される「ラグビーワールドカップ 2019™」においても、本路線を利用して、国内外から多くの方々に訪れていただくことが期待されます。

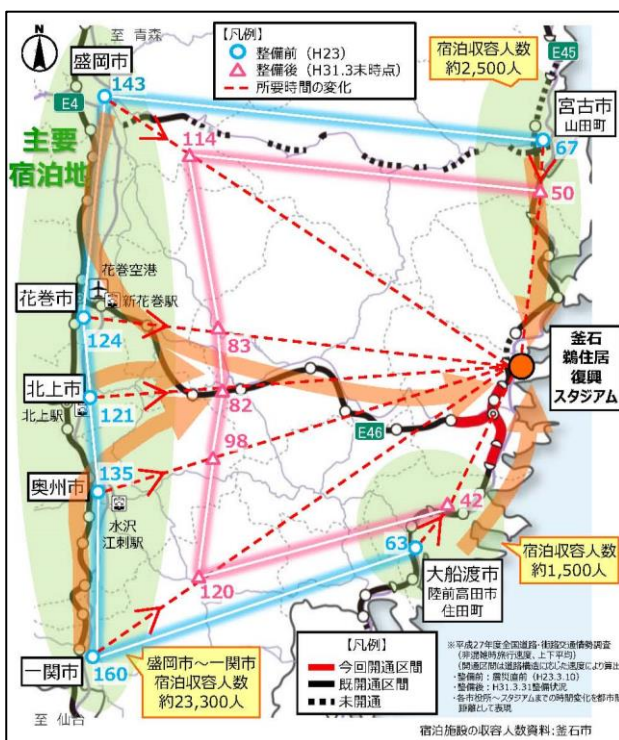
東北横断自動車道釜石秋田線は昭和62年9月に予定路線として決定して以来、32年の歳月を経て全線開通となりました。多くの方々が犠牲になられた東日本大震災津波以降、「命の道」と呼ばれ、加速的に整備が進められたことを後世に伝えながら、引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し復興道路等の早期の全線開通に向け全力で取り組んでいきます。



内陸部と釜石港の物流ルート



信頼性の高い道路ネットワークが形成



ラグビーワールドカップ釜石開催会場 釜石鶴住居復興スタジアムまでの所要時間(分)



開通後の状況①

(東北横断自動車道釜石秋田線 遠野 IC)



開通後の状況②

(三陸沿岸道路 釜石中央 IC)



開通後の状況③

(三陸沿岸道路 釜石唐丹 IC)

## 【事業概要】

道路名	東北横断自動車道釜石秋田線		三陸沿岸道路	
	遠野道路	釜石道路	吉浜釜石道路	釜石山田道路
区間	遠野住田IC～ 遠野IC	釜石JCT～ 釜石仙人峠IC	釜石南IC～ 釜石JCT	釜石JCT～ 釜石両石IC
事業期間 (年度)	H23～H30	H23～H30	H23～H30	H5～H30
開通日	H31.3.3	H31.3.9	H31.3.9	H31.3.9
延長	11.0km	6.0km	9.0km	5.6km
幅員	7.0(13.5)m			
設計速度	80km/h			
事業者	国土交通省			

## 【位置図】



※資料、写真提供：岩手河川国道事務所、南三陸国道事務所

# 復興道路 E45 三陸沿岸道路 唐桑高田道路 唐桑小原木IC～陸前高田長部IC 開通!

道路建設課

平成31年3月21日(木・祝)、宮城県気仙沼市唐桑町にて、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている三陸沿岸道路の唐桑高田道路 唐桑小原木IC～陸前高田長部ICの開通式が国、岩手県、宮城県、陸前高田市、気仙沼市の共催で開催されました。



テープカット、くす玉開き

岩手県と宮城県が復興道路で結ばれることから、式典には、達増岩手県知事、佐野宮城県副知事、戸羽陸前高田市長、菅原気仙沼市長をはじめ、国会議員、両県議会議員、地域住民の方々など両県から多数の関係者が出席しました。

国会議員の方々からの祝辞に続き、地域の代表者として、気仙沼市立唐桑中学校の星智樹さんから開通に期待する声が発表され、その後、テープカットとパレードが行われました。



達増岩手県知事 挨拶



戸羽陸前高田市長 挨拶



期待の声 気仙沼市立唐桑中学校 星智樹さん



開通パレード

会場では、牡蠣汁のお振る舞いのほか、高田第一中学校吹奏楽部の演奏や大沢内ばやし保存会による大沢内ばやし、気仙沼人力車木遣会による祝い唄が披露されました。



牡蠣汁のお振る舞い



高田第一中学校吹奏楽部 演奏



大沢内ばやし 演奏



祝い唄 披露

今回の開通により、三陸沿岸道路の岩手県内釜石以南が全線開通し、宮城県気仙沼市まで自動車専用道路で繋がります。

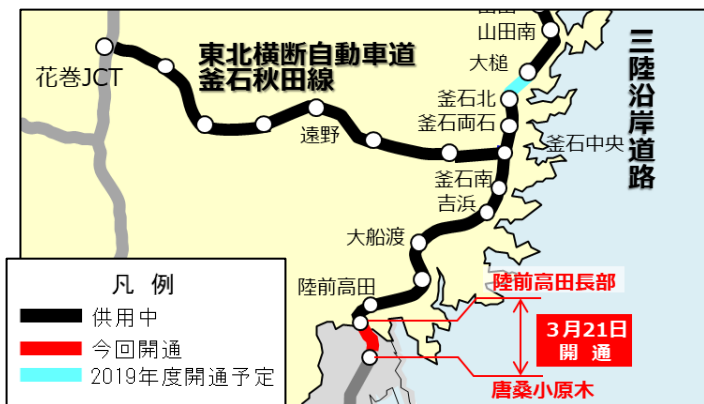
このことにより、移動時間が短縮されることから、**県境を越えた地域間の連携強化**が図られ、**産業・経済の活性化**や**新鮮な海産物の輸送効率向上と販路拡大による水産業振興**が期待されます。

また、現在、国や陸前高田市と一体となって高田松原津波復興祈念公園と東日本大震災津波伝承館「いわてT S U N A M I メモリアル」の整備を進めていますが、この道路は、**震災の経験や教訓を国内外に語り伝えていく震災伝承ルート**としての役割も担うこととなります。

なお、岩手県内の三陸沿岸道路は無料で通行できますので、ぜひご利用ください。

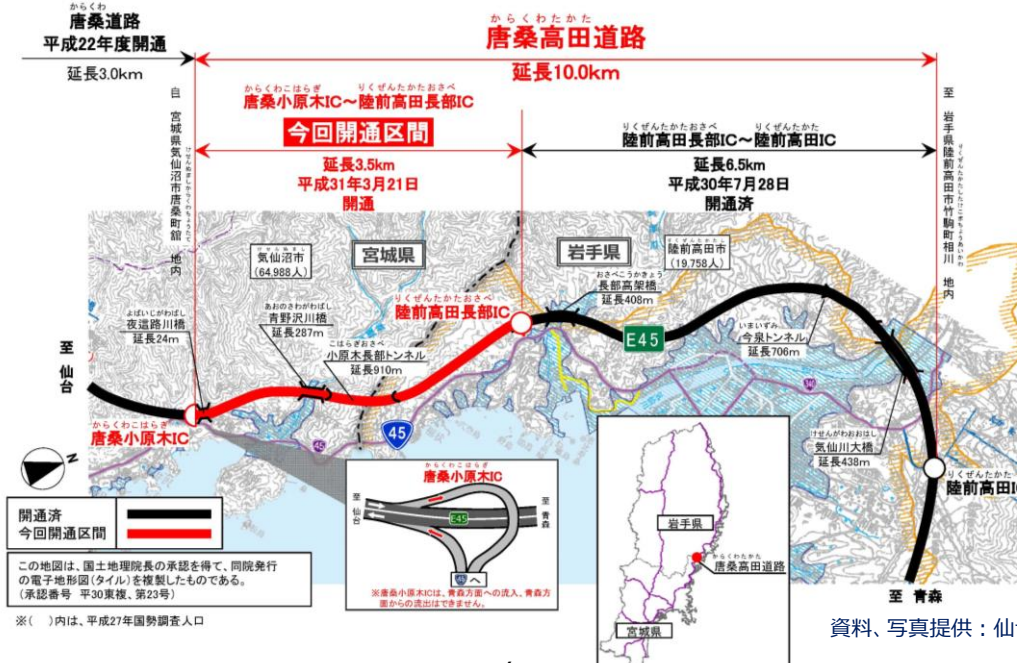
県では、引き続き、国や市町村、関係者の皆様と連携し復興道路等の早期の全線開通に向け全力で取り組んでいきます。

### 【位置図】



### 【今回開通区間の事業概要】

区分	路線	唐桑高田道路
区間		唐桑小原木IC～陸前高田長部IC
延長		3.5km(岩手県内1.5km)
車線		2車線
幅員		7.0(13.5)m
設計速度		80km/h
道路種別		自動車専用道路
事業期間		H23～H30
事業者		国土交通省



資料、写真提供：仙台河川国道事務所

# 【主要地方道重茂半島線、一般県道津軽石停車場線】 「熊の平～津軽石」が開通しました！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県がまちづくり連携道路等に位置づけ整備を進めてきた、主要地方道重茂半島線、一般県道津軽石停車場線「熊の平～津軽石」が平成31年3月16日（土）15時に開通しました。

当日は天候にも恵まれたなか、開通に先立ち10時30分から重茂トンネル東側の道路上で開通式を開催しました。

開通式では、地元の重茂中学校生徒15名によるトド崎太鼓が披露され、宮古市長、国会議員、県議会議員、漁協関係者、地元小中学校、用地提供者等の多数の関係者が出席しました。

沿岸広域振興局長による挨拶、宮古市長、国会議員、県議会議員などからの祝辞、重茂漁業協同組合代表理事組合長から開通への期待の言葉をいただきました。

テープカット・くす玉開きを行い、パレードでは、長野県からの応援職員の小柳徳光主査による力強い出発号令を受け、重茂から津軽石に向かって次々と車両が出発し盛大に行われました。



石川 沿岸広域振興局長 挨拶



山本 宮古市長 祝辞



山崎 代表理事組合長 期待の言葉



テープカット・くす玉開き・バルーンリリース

うにっち、サーモンくん・みやこちゃん、長野県PRキャラクターのアルクマが開通式に駆けつけました。



長野県応援職員小柳主査によるパレード出発号令



道路パトロールカーを先頭にパレード出発  
重茂中学校生徒達とご当地キャラたちがお見送りしてくれました

**【道路整備による効果】**

- 津波浸水区域を回避し、災害時における確実な緊急輸送の確保
- 水産物の安定的な輸送路の確保
- 3月23日に運行再開した「リアス線 津軽石駅」へのアクセス向上
- 現道の1車線区間(約7km)の解消による安全性の向上
- 移動時間等の短縮による利便性向上

宮古市音部～津軽石(国道45号)間

「時間 18分→11分【-7分】 距離 10.5km→7.4km【-3.1km】」

県としては、復興をけん引し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークの構築を推進や、重茂半島線の全線開通等に向けて全力で取り組んでいきます。

**【主要地方道重茂半島線、一般県道津軽石停車場線「熊の平～津軽石」の事業概要】**

一般県道 津軽石停車場線の事業概要		主要地方道 重茂半島線の事業概要																															
<p><b>計画概要</b></p> <table border="1"> <tr><td>計画延長</td><td>300m</td></tr> <tr><td>計画幅員 一般部</td><td>5.5(9.5)m</td></tr> <tr><td>橋梁部</td><td>5.5(9.5)m</td></tr> <tr><td>道路の区分</td><td>第3種第4級</td></tr> <tr><td>設計速度</td><td>30km/h</td></tr> <tr><td>事業期間</td><td>H26-30</td></tr> <tr><td>全体事業費</td><td>17億円</td></tr> </table> <p><b>標準断面図</b></p>		計画延長	300m	計画幅員 一般部	5.5(9.5)m	橋梁部	5.5(9.5)m	道路の区分	第3種第4級	設計速度	30km/h	事業期間	H26-30	全体事業費	17億円	<p><b>計画概要</b></p> <table border="1"> <tr><td>計画延長</td><td>7,400m</td></tr> <tr><td>計画幅員 一般部</td><td>5.5(7.0~9.5)m</td></tr> <tr><td>トンネル部</td><td></td></tr> <tr><td>橋梁部</td><td>5.5(6.5~9.0)m</td></tr> <tr><td>道路の区分</td><td>第3種第4級</td></tr> <tr><td>設計速度</td><td>40km/h</td></tr> <tr><td>事業期間</td><td>H24-30</td></tr> <tr><td>全体事業費</td><td>125億円</td></tr> </table> <p><b>標準断面図</b></p>		計画延長	7,400m	計画幅員 一般部	5.5(7.0~9.5)m	トンネル部		橋梁部	5.5(6.5~9.0)m	道路の区分	第3種第4級	設計速度	40km/h	事業期間	H24-30	全体事業費	125億円
計画延長	300m																																
計画幅員 一般部	5.5(9.5)m																																
橋梁部	5.5(9.5)m																																
道路の区分	第3種第4級																																
設計速度	30km/h																																
事業期間	H26-30																																
全体事業費	17億円																																
計画延長	7,400m																																
計画幅員 一般部	5.5(7.0~9.5)m																																
トンネル部																																	
橋梁部	5.5(6.5~9.0)m																																
道路の区分	第3種第4級																																
設計速度	40km/h																																
事業期間	H24-30																																
全体事業費	125億円																																
<p><b>事業概要図</b></p> <p><b>【凡例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業計画(2車線)</li> <li>■ 現道(1車線)</li> </ul>		<p><b>事業概要図</b></p> <p><b>【凡例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業計画(2車線)</li> <li>■ 現道(1車線)</li> <li>■ 現道(2車線)</li> </ul>																															



# 「リノベーションフォーラム」を開催！

建築住宅課

平成 31 年1月 25 日、「リノベーションフォーラム」を盛岡市のコワーキングスペース Arukoko で開催しました（参加者 22 名）。

本フォーラムは、空き家などの遊休不動産をリノベーションして新たなビジネスを興そうとする方などを対象に、既にビジネスを実践している方から直接レクチャーを受けると共に、講師や受講者同士のつながりをつくってもらう機会として実施したものです。

フォーラムでは、[㈱花巻家守舎の小友康弘氏](#)から、[小友ビル](#)や[マルカン大食堂](#)の事例を通して、最も重要なお金のやりくりについて具体的にお話いただきました。

その後、盛岡市内で実際に空き家のリノベーションによるビジネスを実施している、[㈱祥薫 company](#) の小堀様、[㈱盛岡八幡家守舎](#)の及川様、[㈱モリノバ](#)の星様から、それぞれ取組事例についてご紹介頂き、最後に、小友様をコーディネーターにパネルディスカッションを行いました。

小堀様からは、まちづくりに最も重要な「コンテンツ＝人」づくりについて、「あたしのリノベーション」、「女子限定！リノベプロジェクト」の取り組みをご紹介いただきました。

及川様からは、八幡町で若者の芸術活動やビジネスを支援する「八藝館」をつくる経緯や、「八幡ともしび横丁」の取り組みについてご紹介いただきました。

星様からは、肴町で運営する「十三日」ができるまでのお話を通じて、空き家オーナーの悩みや一緒に活動する仲間探しについてお話を頂きました。

パネルディスカッションでは、小友様のコーディネートのもと、エリアのビジョンや投資の考え方、テナントの集め方、行政との連携など、より深くお話をいただきました。

フォーラム終了後には、講師の皆様と受講者との交流もあり、新たなつながりも生まれていました。これから生まれてくる新たな動きが楽しみです。



小友様講演



←小堀様事例紹介



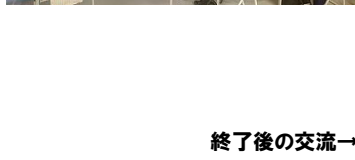
及川様事例紹介→



←星様事例紹介



パネルディスカッション



終了後の交流→

# 東日本大震災津波からの復興に向けて ～平成30年度 県土整備部の取組状況～

東日本大震災津波の発災から、8年が経過しました。

県土整備部は、被災地の一日も早い復興に向けて、インフラの復旧や整備等に取り組んでいます。

今号では、平成30年度 of 主な取組状況をご紹介します。

## 主な復旧・復興事業の進捗状況（平成31年3月末見込み）

復興まちづくり（面整備）	7,479区画のうち、9割超の宅地が完成見込み。
復興道路等	事業化延長359kmのうち、231km（約64%）が開通。
津波防災施設 （県土整備部所管分）	65地区のうち、47地区（約72%）が完成見込み。
災害公営住宅 （沿岸部・内陸部）	5,854戸のうち、5,658戸（約97%）が完成見込み。

## 各分野の取組状況

### 復興まちづくり

#### ～土地区画整理事業や防災集団移転促進事業等の面整備は約9割が完成～

岩手県における復興まちづくりの基本的な考え方は、多重防災型まちづくりを目指しています。これは、被害状況や地理的条件、歴史や文化、産業構造などに応じて、その地域に合致した「津波防災施設」、「まちづくり」、「ソフト対策」を適切に組み合わせ、被害をできるだけ最小化するという「減災」の考えにより「安全の確保」を図るものです。

今年度は、陸前高田市で中心市街地の整備が進み、まちびらき記念式典が開催されたほか、防災集団移転促進事業は県内すべての団地造成が完了しました。



陸前高田市「アバッセたかた」をはじめとする中心市街地の様子

## 復興道路等の整備

～高規格幹線道路の整備が進み、利便性向上や産業振興に寄与～

国が施行する復興道路(三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路)については、平成30年度に55.9km※が開通しました。(※県内開通延長。県施行分3.3km含む)

特に、東北横断自動車道釜石秋田線が復興道路としては初めて全線開通し、初めて岩手県の沿岸部と内陸部が高速交通体系で結ばれました。また、三陸沿岸道路(県内)は釜石以南が全て開通しました。

復興道路を補完する道路として県が施行する、復興支援道路や復興関連道路については、国道284号室根バイパスや、国道340号立丸峠、国道107号梁川～口内などが新たに開通しました。

平成30年度までに、復興支援道路については整備計画箇所38箇所のうち29箇所、復興関連道路については整備計画箇所20箇所のうち17箇所が、それぞれ開通しています。

岩手県内の復興道路等の整備状況  
(平成30年度末)



①主要地方道野田山形線野田工区 (H30.12月開通)



②一般国道340号立丸峠工区 (H30.11月全線開通)



③東北横断自動車道釜石秋田線全線開通  
三陸沿岸道路(釜石南IC～釜石両石IC)  
東北横断自動車道釜石秋田線  
(釜石JCT～釜石仙人峠IC)  
(H31.3月開通)

2ページにて紹介



④三陸沿岸道路 唐桑高田道路  
唐桑小原木IC～陸前高田長部IC(H31.3月開通)

5ページにて紹介



⑤一般国道284号室根バイパス (H30.4月開通)

## 津波防災施設

### ～防潮堤等の津波防災施設は半分以上の地区で完成～

防潮堤や水門等については、県、市町村あわせて134地区のうち県土整備部では65地区で整備を進めています。

今年度は、宮古市の高浜海岸、陸前高田市の長部川など7箇所で開催が完了し、年度末までに約7割の地区の完成を予定しています。

また、津波発生時に現地で人が操作することなく、水門・陸閘を安全かつ迅速・確実に閉鎖できる「水門・陸閘自動閉鎖システム」の整備を進めており、整備が完了した箇所から順次運用しています。



高浜海岸(宮古市):平成30年6月整備完了



片岸海岸(釜石市):平成30年12月整備完了

## 災害公営住宅

### ～沿岸部は概ね整備完了、内陸部は約4割が完成～

災害公営住宅は、県と市町村で計5,854戸の整備を進めています。

今年度は、釜石市や山田町で整備が完了し、沿岸部では大槌町の2地区を残し整備が完了します。

内陸部の災害公営住宅についても、備後第1(盛岡市)、花巻中央(花巻市)、穀町(遠野市)、駒下(一関市)及び桜屋敷(奥州市)で完成し、全体の約4割まで完成する見込みです。



県営安渡アパート(大槌町):平成30年12月完成



県営備後第1アパート(盛岡市):平成30年9月完成

## 高田松原津波復興祈念公園

～2019年度一部供用に向けて整備を推進するとともに、高田海岸の砂浜再生工事を実施～

高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災津波の犠牲者を追悼・鎮魂し、震災の経験や教訓を継承するとともに、市街地や利用者の安全を確保し、まちづくりと一体となった地域の賑わいの再生に資することを目的とし、国、県、陸前高田市が一体となって整備を進めています。

本年9月に開催されるラグビーワールドカップ2019™釜石開催までに、公園の一部区域の供用を開始することができるよう、引き続き整備を進めていきます。

また、被災した観光資源を再生する取組として、津波により砂浜が消失した高田海岸などの砂浜再生を行っています。平成27年度から着手した砂浜再生工事は3月に完了し、今後は、砂浜の経過をモニタリングしていく予定です。



高田松原津波復興祈念公園 平面図



高田海岸の砂浜再生工事の状況(H31.2月時点)

## 港湾

～施設整備や機能拡充が進み、地域産業の振興に寄与～

平成30年6月22日、宮古港と室蘭港を結ぶ本県初のフェリー航路が開設されました。航路の開設により、輸送ルートの選択肢が増え、物流関連をはじめ製造業や観光など、さまざまな産業の活性化が期待されます。

また、平成29年度の釜石港へのガントリークレーンの整備や新たな外貿定期コンテナ航路の開設などにより、平成30年の県内港湾のコンテナ取扱量は過去最多を記録しました。

加えて、宮古港では、平成30年5月と9月に、県内の港湾では震災後初となる外国船社のクルーズ船が寄港し、平成31年4月には、本県初となる10万トンを超えるクルーズ船が寄港します。

このように、今後も、復興道路等との相乗効果で、地域産業の振興が図られることが期待されます。



宮古・室蘭フェリー第1便出港の様子



H31.4.25 ダイヤモンド・プリンセス寄港予定